

旧ロシア領事館活用事業プロポーザルの事業者選定結果について

〔審査対象者〕 2者

- ・相馬株式会社
- ・株式会社ソヴリン

〔審査委員会〕 令和3年2月8日(月)(プレゼンテーション・ヒアリング・事業者選定)

〔審査委員会委員〕 5名

- 委員長：奥平 理 (北海道教育大学函館校 准教授)
- 委 員：岡本 誠 (公立はこだて未来大学 教授)
- 委 員：山内 一男 (株式会社建築企画山内事務所 代表取締役)
- 委 員：中村 和之 (函館工業高等専門学校 特任教授)
- 委 員：高橋 昭彦 (北海道中小企業総合支援センター 道南支部 支部長)

1 最適提案者（契約候補事業者）

名 称：株式会社ソヴリン

代表者：代表取締役 村瀬 啓方

所在地：愛知県名古屋市天白区井口一丁目601番地

2 最適提案者の評価内容

評価基準に基づき、委員間の協議が行われた結果、総合点が最も高かった審査対象者が最適提案者として選定された。

分野	番号	審査項目	配点	株式会社ソヴリン
経営基盤・ 収支計画 (35点)	1	事業者の経営基盤が安定しているか	15	15.00
	2	事業の収支計画が妥当であるか	10	6.00
	3	事業内容に必要な運営体制が提案されているか	10	7.80
建物の改修・ 維持管理 (40点)	4	建物の価値を生かした適切な改修内容となっているか	20	13.80
	5	歴史的価値を有する建物に適した維持管理計画が提案されているか	20	14.20
地域貢献 (25点)	6	建物の持つ歴史的・文化的価値を生かす魅力的な事業内容が提案されているか	10	6.80
	7	地域の賑わいを共創し、魅力向上に資する事業となっているか	10	6.80
	8	周辺地域の景観や環境との調和に配慮した事業となっているか	5	3.60
合 計			100	74.00

3 最適提案者の選定理由

このたび選定された最適提案者の企画提案については、安定的な事業継続が期待できることや、建物の保全ならびに利用者の安全に配慮した耐震補強を行い、建物の一部を通年で市民や観光客に公開する予定であること、そして、何より、建物の歴史的価値を生かした活用に主眼を置いており、歴史的・文化的価値を有すると考えられるものが発見された場合、建物改修において柔軟に対応する姿勢があることを高く評価したものであり、旧ロシア領事館の歴史的価値を継承するとともに、施設を概ね有効に保存活用していく内容であることが認められた。

なお、旧ロシア領事館は歴史的・文化的価値が高いと考えられることに加えて、文化財としての価値の保全を求める市民等の声があることなども踏まえ、本館の改修にあたっては、本提案を基本としながら、最適提案者には、函館市と十分に協議のうえ、改めて、可能な限り次のことに努めていただくようお願いする。

- 1 歴史的・文化的価値を有する可能性が高い箇所について、活用しないものは保存すること。
- 2 歴史的・文化的価値を有する可能性が高い箇所が新たに発見された場合は、これを保存すること。

また、旧ロシア領事館の保存活用にあたっては、地域住民等との共創についても、今後さらに検討いただきたい。